

成人看護Ⅳ (消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能障害の看護)						DP3 DP4		看護高等課程	
科目名	学年	1 年	分野	専門 成人看護	時間数	29 時間	担当 教員	武田 玲子(8.5)、三原 志能婦(4.5) 古川 美佐(8)、吉田 拓郎(8)	
科目概要	看護職者として必要な消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能に障害のある患者の看護について学ぶ。								
到達目標	1. 主な消化器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な代謝・内分泌疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な腎・泌尿器疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1～4	消化器疾患患者の看護				看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護			講義	武田
					主な症状と看護（腹痛、黄疸、食欲不振、悪心・嘔吐、下痢・便秘、吐血・下血、腹部膨満、胸やけ。嚥下困難）				
					主な疾患患者の看護 （胃・十二指腸潰瘍、胃がん、慢性肝炎、肝硬変、胆石症、膵炎）				
5～6					(外科治療) 人工肛門造設患者の看護、経皮内視鏡的胃瘻造設術を受ける患者の看護			講義	三原
7～10	内分泌・代謝疾患患者の看護				看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護			講義 演習	古川
					主な症状と看護（糖尿病、内分泌疾患）				
					検査・治療・処置に伴う看護 （等負荷試験、グルカゴン試験、食事・運動・薬物療法）				
11～14	腎・泌尿器疾患患者の看護				看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護			講義	吉田
					主な症状と看護（浮腫、高血圧、貧血・出血傾向、疼痛・発熱）				
					検査・治療・処置に伴う看護 （尿検査、腎生検、透析、薬物療法、食事療法、腎移植、免疫・ホルモン療法）				
15	試験（1 時間）				主な疾患患者の看護 （糸球体腎炎、腎不全、腎盂腎炎、ネフローゼ症候群、尿路結石、膀胱炎）			試験	
評価基準	武田（25 点）・三原（25 点）・古川（25 点）・吉田(25 点)の計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 8 成人看護Ⅰ 看護学入門 9 成人看護Ⅱ 看護学入門 7 基礎看護Ⅲ 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									